

2020年6月17日

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086
神戸市中央区磯上通 5-1-28
www.lilly.co.jp

EL20-24

<新発売>

新規の超速効型インスリン「ルムジェブ®注」

～ 健康な人のインスリン分泌により近いインスリン動態を再現 ～

2020年6月17日、日本イーライリリー株式会社(本社:兵庫県神戸市、代表取締役社長:シモーネ・トムセン、以下「日本イーライリリー」)は、新規の超速効型インスリンアナログ製剤「ルムジェブ®注ミリオペン®」、「ルムジェブ®注ミリオペン®HD」、「ルムジェブ®注カート」および「ルムジェブ®注 100 単位/mL」(一般名:インスリン リスプロ(遺伝子組換え)、以下「ルムジェブ®注」)について、本日、「インスリン療法が適応となる糖尿病」を効能・効果として新発売しました。

ルムジェブ®注は、より良い血糖コントロールの実現のために、健康な人のインスリン分泌により近いインスリン動態の再現を目指し開発された薬剤です。2001年に発売以来、多くの使用実績がある超速効型インスリンアナログ製剤ヒューマログ®注(一般名:インスリン リスプロ(遺伝子組換え))の有効成分に添加剤を加えることで皮下からの吸収を速め、日本人1型糖尿病患者さんにおいてヒューマログ®注に比べて最高濃度の50%に達する時間を13分、曝露持続時間を88分短縮し、速やかなインスリン作用発現および消失を実現しました。

ルムジェブ®注は通常、食事開始時(食事の前2分以内)に1回2～20単位を皮下注射します。そのため、患者さんが食事内容を確認した上で、「いただきます」のタイミングで投与することが容易となり、処方薬剤の変更によって患者さんの現在の生活リズムを大きく変える必要がありません。また、必要な場合は食事開始後20分以内に投与することも可能です。

日本イーライリリーの糖尿病・成長ホルモン事業本部長メアリー・トーマスは次のように述べています。「ルムジェブ®注は、健康な方のインスリン分泌により近いインスリン動態を持つ有望な新薬です。食後の血糖値を目標範囲内に収めるための新たな選択肢として、世界に先駆けてルムジェブ®注を日本の糖尿病患者さんにご提供できることを大変嬉しく思っています」。

イーライリリー・アンド・カンパニーは1923年に世界で初めてインスリンの商品化に成功して以来、絶え間ない努力によって高品質のインスリンの製造・販売をし続けてきました。この歴史から、インスリン分野の豊富な専門知識、見識、ノウハウの蓄積により、世界中の糖尿病患者さんへ高品質の医薬品ならびに注入器の提供を実現しています。インスリン発見 100周年を来年に控えた今もなお、イーライリリー・アンド・カンパニーは変わらずこの歴史を継承・発展させ続けており、現在では幅広い糖尿病治療の選択肢を提供することで、糖尿病治療の発展と糖尿病患者さんのより豊かな人生のために尽力しています。

<参考情報>

販売名: ルムジェブ®注ミリオペン®
ルムジェブ®注ミリオペン®HD
ルムジェブ®注カート
ルムジェブ®注 100 単位/mL

一般名: インスリン リスプロ(遺伝子組換え)

効能・効果: インスリン療法が適応となる糖尿病

用法・用量: 通常、成人では 1 回 2~20 単位を毎食事開始時に皮下注射するが、必要な場合は食事開始後の投与とすることもできる。ときに投与回数を増やしたり、持続型インスリン製剤と併用したりすることがある。投与量は、患者の症状及び検査所見に応じて適宜増減するが、持続型インスリン製剤の投与量を含めた維持量としては通常 1 日 4~100 単位である。
(ルムジェブ®注 100 単位/mLのみ)必要に応じ持続皮下注入ポンプを用いて投与する。

薬価:	ルムジェブ®注ミリオペン® (300 単位 1 キット)	1,400 円
	ルムジェブ®注ミリオペン®HD (300 単位 1 キット)	1,400 円
	ルムジェブ®注カート (300 単位 1 筒)	1,175 円
	ルムジェブ®注 100 単位/mL (100 単位 1mL バイアル)	277 円

製造販売承認日: 2020 年 3 月 25 日

薬価基準収載日: 2020 年 5 月 20 日

発売日: 2020 年 6 月 17 日

製品写真:

ルムジェブ®注ミリオペン®



ルムジェブ®注ミリオペン®HD



ルムジェブ®注カート



ルムジェブ®注 100 単位/mL



イーライリリー・アンド・カンパニーの糖尿病事業について

イーライリリー・アンド・カンパニーは1923年に世界で初めてインスリン製剤を開発して以来、糖尿病ケアの分野において常に世界をリードしてきました。現在も、糖尿病をもつ人々やケアを行う人々の様々なニーズに応えることで、この伝統を築いています。研究開発や事業提携、拡大し続ける幅広い医薬品ポートフォリオ、そして、医薬品からサポートプログラムをはじめとする実質的なソリューションを提供し続けることを通じて、世界中の糖尿病をもつ人々の生活の改善に努めます。詳細はウェブサイトをご覧ください。 <https://www.lillydiabetes.com/>

日本イーライリリーについて

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの日本法人です。人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう、革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じ、がん、糖尿病、筋骨格系疾患、中枢神経系疾患、自己免疫疾患、成長障害、疼痛、などの領域で日本の医療に貢献しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。 <https://www.lilly.co.jp>

糖尿病事業について

日本イーライリリー株式会社は、糖尿病のトータル治療を提供するリーディングカンパニーとして、画期的な糖尿病治療薬の研究、開発および情報提供活動に尽力していくとともに、「リリー インスリン 50 年賞」をはじめとしたサポート活動を通じ、糖尿病と共に生活をされている患者さんに寄り添い貢献してまいります。